

1

(1)	2 2 6 2	(2)	1 0 9 4	(3)	3 2 1	(4)	4 6 4
-----	---------	-----	---------	-----	-------	-----	-------

(5)	2 6 3 2	(6)	3 3 3 2	(7)	1 3 6 8	(8)	4 2 0 5
-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------

(9)	$\frac{30}{97}$	(10)	⑦ 2 (L)	⑧ 6 8 0 (mL)	(11)	9 4 9 (m)
-----	-----------------	------	---------	--------------	------	-----------

(12)	8 0	(13)	9 (通り)
------	-----	------	--------

((10)完答)

2

(1)	1 2 通り	(2)	1 2 0	(3)	2 通り
-----	--------	-----	-------	-----	------

3

(1)	2 8 まい	(2)	2 2 まい	(3)	6 (cm)
-----	--------	-----	--------	-----	--------

4

(1)	D	(2)	2 8 才	(3)	1 1 才
-----	---	-----	-------	-----	-------

5

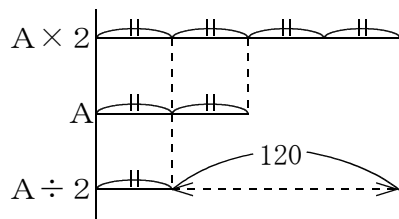
(1)	9 点	(2)	5 2 点	(3)	4 0 通り
-----	-----	-----	-------	-----	--------

(配点) 各4点×25

1

- (7)  $715 + \square = 2083$   
 $\square = 2083 - 715 = 1368$
- (8)  $\square - 2306 = 1899$   
 $\square = 1899 + 2306 = 4205$
- (10)  $5 \text{ L } 6 \text{ dL} - \textcircled{ア} \text{ L } \textcircled{イ} \text{ mL} = 2 \text{ L } 920 \text{ mL}$   
 $\textcircled{ア} \text{ L } \textcircled{イ} \text{ mL} = 5 \text{ L } 600 \text{ mL} - 2 \text{ L } 920 \text{ mL}$   
 $= 2 \text{ L } 680 \text{ mL}$
- (11)  $1 \text{ km } 189 \text{ m} - \square \text{ m} + 476000 \text{ cm} = 5 \text{ km}$   
 $\square \text{ m} = 1189 \text{ m} + 4760 \text{ m} - 5000 \text{ m}$   
 $= 949 \text{ m}$

(12) 線分図でまとめる。



よって、 $\text{---} \times 3 = 120$ になる。  
 $\text{---} \times 1 = 120 \div 3 = 40$  なので、 $A = 40 \times 2 = 80$

- (13) (100円, 50円, 10円)の順に組み合わせていくと、  
 (2, 0, 0)(1, 2, 0)(1, 1, 5)(1, 0, 10)  
 (0, 4, 0)(0, 3, 5)(0, 2, 10)(0, 1, 15)  
 (0, 0, 20)の合計9通り。

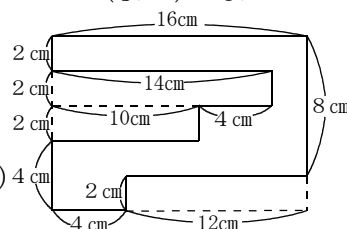
2

- (1) まん中の数に注目すると、  
 9から13までと16から20までと23と24の合計12通り。
- (2) 最大はまん中の数が24のとき、  
 よって、 $17 + 23 + 24 + 25 + 31 = 120$
- (3) 囲んだ5個の数の和はまん中の数の5倍になる。  
 よって、まん中の数が9でわりきれるときだけ和も9でわりきれる。まん中の数が9と18のときなので、2通り。

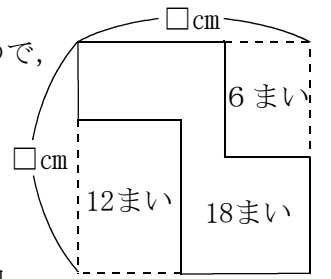
3

- (1)  $8 \div 2 = 4$  (まい)  $\rightarrow$  たて  $14 \div 2 = 7$  (まい)  $\rightarrow$  よこ  
 よって、 $4 \times 7 = 28$  (まい)

- (2) まわりからひく。(右図)  
 全体は、  
 $(10 \div 2) \times (16 \div 2) = 40$  (まい)  $4 \text{ cm}$   
 へこみ部分は、  
 $14 \div 2 + 10 \div 2 + 12 \div 2 = 18$  (まい)  
 よって、 $40 - 18 = 22$  (まい)



- (3) アよりイの方が2だけ大きいので、  
 $A + 8$  と  $I + 6$  は同じになる。  
 $A + 8 = I + 6 = \square$  とする。  
 へこみ部分は、  
 $(6 \div 2) \times (8 \div 2) = 12$  (まい)  
 $(6 \div 2) \times (4 \div 2) = 6$  (まい)  
 よって、1辺  $\square \text{ cm}$  の正方形の中  
 には、1辺  $2 \text{ cm}$  の正方形が、 $12 + 18 + 6 = 36$  (まい)  
 入る。 $36 = 6 \times 6$  より、 $\square = 2 \times 6 = 12$  (cm)  
 $I = 12 - 6 = 6$  (cm)



4

- (1) A, C, Eの話から次のことがわかる。  
 低い 10代 20代 高い  
 $\square \quad \square \quad A \quad E \quad C$

さらに、CがAより8才年上なので、  
 $A = 20$ 才、 $C = 28$ 才  
 $A = 21$ 才、 $C = 29$ 才のどちらかだとわかる。  
 さらに、Bの話より、 $A + B = D + E$  となり、  
 低い 10代 20代 高い



とわかる。よって、一番年下はD。

- (2)  $A + B = D + E = A$  とすると、5人の年れいの和は、  
 $A \times 2 + C$  になる。(1)より、Cは28才か29才なので、  
 $A \times 2 + 28$  か  $A \times 2 + 29$  のどちらかになる。  
 ここで、Dの話を考える。  
 5人の和が16でわりきれることより、和は偶数。  
 よって、Cは28才、Aは20才。
- (3) (2)より、5人の年れいの合計は、 $A \times 2 + 28$  になる。  
 $A(A + B)$  は、  
 $20 + 11 = 31, 20 + 12 = 32, 20 + 13 = 33, 20 + 14 = 34$   
 $20 + 15 = 35, 20 + 16 = 36, 20 + 17 = 37, 20 + 18 = 38$   
 $20 + 19 = 39$  のいずれか。  
 $A \times 2 + 28$  は、  
 $90, 92, 94, 96, 98, 100, 102, 104, 106$  のいずれか。  
 このなかで、16でわりきれるのは、96のみ。  
 このとき、 $A = (96 - 28) \div 2 = 34$   
 $E + D = 34 \quad E - D = 12$  より、  
 $D = (34 - 12) \div 2 = 11$  (才)

5

- (1)  $5 + 2 \times 2 = 9$  (点)
- (2)  $13 \times 2 + 13 \times 2 = 52$  (点)
- (3) 和が11になるのは、 $1 + 10, 2 + 9, 3 + 8, 4 + 7, 5 + 6$  の5種類ある。そのうち、奇数は赤と青の2通りだが、偶数は、例えば10なら、赤10, 青10, 黄5, 緑5のように、4通りずつある。5種類の組み合わせはすべて偶数と奇数の和なので、それぞれ、 $2 \times 4 = 8$  (通り) ずつ。よって、 $8 \times 5 = 40$  (通り)

配点：各4点  $\times$  25